地域版 大隅

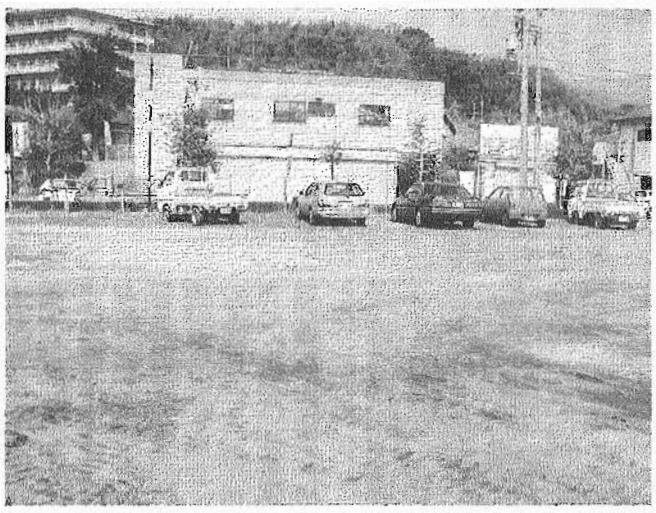
鹿屋支局
鹿屋市新川町877
☎0994-44-9377
通信部
肝属
大隅
大隅東部
根占

工事ニュース、団体・企業ニュース、催し物などは支局、通信部へご連絡下さい。

6月にも分離発注か

鹿屋市市街地住宅建設

鹿屋市は、同市打馬1丁目の大隅森林管理署跡地に市街地住宅建設を計画している。補助金等の関係で6、7月頃の発注予定で17年3月の完成を目指す。建築設計は新留建築設計事務所、設備設計は鹿児島設備連合設計が担当。



市街地住宅の建設予定地

人口・児童数の減少、高齢化が進んでいる中心市街地の活性化を図り、市街地の再開発整備に伴う住宅需要の受け皿として良質で利便性の高い住宅の整備を行う目的で建設される。

15年度に設計を終え、早ければ6月にも発注を予定している。敷地面積は約2569・28平方㍍。建物規模は中層耐火構造4階建延べ1300平方㍍で、1階が2DK4部屋、2階から4階が3LDK12部屋で16戸の1棟。エレベーター1基を設置する。

同市では、建築本体はJVで、設備（エレベーター）・電気・外柵・児童遊園地は単体での発注を予定している。総予算額は、約2億7200万円。

山下プランニングがKES取得

社員の環境意識高まる

山下プランニング㈱（山下高司社長、鹿屋市）はこのほど、KES・環境マネジメントシステム・スタンダード（ステップ1）の認証を取得した。登録範囲は「登録組織全域における測量・土木設計・施工管理の全ての事業活動」。大隅地区では初めてで県内では3番目。

測量・設計、開発業務、施工管理など環境に配慮した設計の提案を行う同社は、社員からの提案で15年5月に認証取得に向けてスタートした。同年10月に鹿児島市にある環境カウンセラー・中小企業診断士ISOコンサルタントの久留正成氏にコンサル依頼して、役割分担、法、条例規制の調査、環境宣言によるマニュアル作成を終えて実行、評価までを進めた結果、16年2月に認証を取得した。

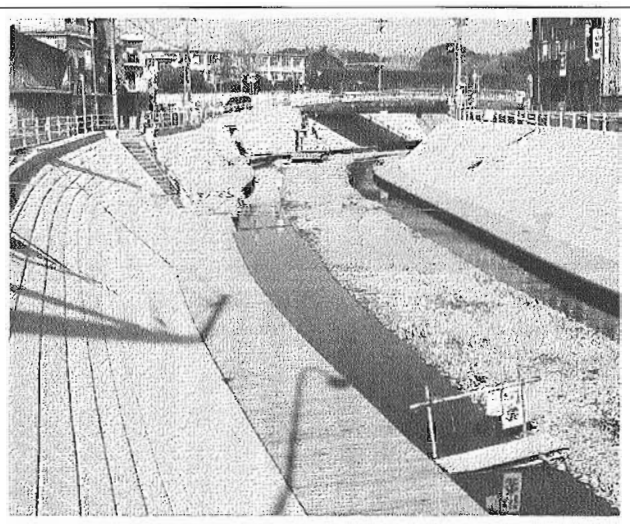
従業員5人の同社が環境保全に6カ月間取り組みガソリンや電気使用料を約20%削減するなど成果もあった。山下社長は「社員からの自発的な環境問題や経費削減への取り組みが成功し、決断して良かったと思っています。社内のチームワークも良くなり意志の疎通も図られました。ISOによりコストや社員の負担も軽減できました。取得したことでイメージ的にも会社のアップにつながります。またこの活動を続けていき輪を広げたい」と話した。

認証書を手にする枦山部長、KES担当の重見氏、山下社長（左から）＝鹿屋市の同社で

大河川国道隅 水辺プラザ事業

親水護岸の完成間近

国土交通省大隅河川国道事務所が13年度から進めている「水辺プラザ事業」は着々と整備が進み、地元産の荒平石を使用した護岸とウッド製散策路は多くの市民の目を引いている。



荒平石を使用した護岸改修が進む肝属川

県内で初の登録となった肝属川の同事業は、大洪水など水害防止対策に加え、河川環境の再生・保全や河川利用による地域調和のとれた川づくりを推進するため、同エリアで計画されている北田・大手町地区再開発事業の関連事業として、総事業費7億3000万円をかけて実施されている。整備区間は、鹿屋橋から王子橋までの約1・5㌔で、かのやイベント広場周辺、鹿屋小学校前、大隅温泉ラドンセンター前の三つを拠点に、緩傾斜護岸やせせらぎ、拠点を結ぶ散策路が作られる。

現在、見取橋上流から王子橋区間まで、荒平石が敷き詰められ護岸修景は完成している。水辺へのアクセス性を重視し、傾斜は緩やかな約20度に設計され、川に下る橋や水辺のウッド部分は地元産の杉で統一した。また、ラドンセンター前には、バリアフリーのワンド（本流沿いにある池）が整備され、より親水性が高まるよう作られた。

今後、鹿屋小学校前には、水辺を歩ける20㍍ほどの散策路が整備される予定で、いまだ未着工の鹿屋イベント広場周辺の護岸修景、護岸親水は、3月中旬に工事発注済み。全区域の完成は6月の予定。15年7月の九州1級河川水質ランキングで3年ぶりにワースト1となり、同事務所は水泳可能な水質に戻す「清流ルネッサンスⅡ」事業や、県や周辺自治体と連携した水質監視に努め、同年11月の定期観測水質測定によると、徐々に改善傾向にあるという。また同事業では、魚類などの生息個所となるようレキ等を積み重ねた構造をとり、流入水の簡易浄化を図るなど、地域交流の拠点となる「にぎわいの水辺」を目指している。

サーモンピンクで温かみある荒平石2万4800枚を使い、肝属川の魅力を最大限に引き出す水辺プラザの完成は、もうすぐそこまできている。

鹿屋BP地域づくり推進連絡協

渋滞対策完成で事故半減

鹿屋バイパス地域づくり推進連絡協議会（白坂茂美会長・鹿屋市下祓川町内会町）は19日、工事完成報告会を鹿屋市のホテルさつき苑で開いた。地元代表、国土交通省大隅河川国道事務所、県鹿屋土木事務所、鹿屋市、施工業者ら43人が出席して渋滞対策事業のうち富山－笠之原地区間1・26㌔の完成報告を行った。

同協議会は、国土交通省の呼び掛けで同バイパス工事に伴う諸問題を審議することを目的に、施工個所地域の代表者や発注機関、警察署、消防署関係者ら約40人で構成。今回が最後の報告会となった。

冒頭、中野道男国土交通省大隅河川国道道路副長が「本協議会は、地域住民と一体となり安全で利用しやすい道路の建設及び円滑な事業の推進を図る目的で設置されました。皆様のご協力で無事完成の報告をさせていただいた。今後もよろしくお願いします」と挨拶。白坂会長も「朝夕の渋滞も緩和され、事故も減り喜んでいます」述べた。続いて工事報告があり、最後に岩坪一光氏㈱原口組が施工業者を代表して経過報告を行った。

完成後の主な効果は、通過時間の短縮や渋滞緩和、通過車両の走行速度の向上、さらに正面衝突等による事故の減少で、特に交通事故は約50%減と報告された。

渋滞緩和も報告された協議会
＝鹿屋市のホテルさつき苑で

あのひとこの人

鹿児島信用金庫鹿屋支店 営業第2担当
森 めぐみさん

——心掛けていることは。

——来店していただいたお客さまに気持ちよく思っていただけるように元気な挨拶をしています。

——今後の目標は。

お客さまに、定期預金ローン、金利優遇などのよりよい商品をお薦めできるように勉強したい。

——お薦めスポットは。

霧島ケ丘公園のバラ園です。花もきれいで香りも良くいやされます。皆さんもぜひ行かれてください。

——趣味などは。

読書が大好きです。特に宮部みゆきさんのファンで、よく読んでいます。

（鹿屋市）

購読料のお支払いはお手軽で便利な
自動振替で
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ